

第6回教育研究審議会

議事概要

日時 令和2年6月17日（水） 午後1時10分～午後2時33分
場所 本部棟 3階 大会議室
出席者 藤田英典学長、杉本光司副学長、田中昌弥副学長、深澤祥邦事務局長、小林重雄理事、樋口雄人学長補佐、佐藤明浩学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、新井仁入学センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、竹島達也研究科委員長、野中潤国文学科長、ハウエル・エヴァンス英文学科長、山本芳美比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、矢嶋亘総務課長、石川和広経営企画課長、中村さき子学生課長

藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 専任教員の公募について（国文学科）

○担当者から資料1に基づき説明。→提案通り承認。

◇専門分野：日本近代文学（詩歌または評論）

担当予定科目：「近代文学基礎演習」「近代文学テーマ研究」「国文学購読（近代）」

「国文学第一演習（近代）」「国文学第二演習（近代）」等

→分野が詩歌と評論となっているが違う領域であると考えがいかがか。

→近代詩歌領域は研究者が少なくなっており探するのが困難であると予想できる。一方、前任者が評論（批評）家として活躍していたような研究者も必要であると考えている。文芸評論と詩の研究はオーバーラップする部分もある。

→この教員公募に限るわけではないが、大学評価において教員公募時に求める人材について、男女比率や年齢バランスなど、学部学科内での組織編成も勘案しなければならないとされているので再確認をしておきたい。

→今回の公募については、若年層を予定したいと考えているが、前回の公募においてうまくいかなかった経験から広く幅をもたせている。

(2) 令和3年度 開講科目について（語学教育センター）

○担当者から資料2に基づき説明。→提案どおり承認。

・中国語コミュニケーションについて増コマ要望があり継続審議となっている。

→JAST プログラムについて、昨年度中の教育研究審議会において留学生用プログラムを今年度見直す予定となっていることを承知しておいていただきたい。

(3) 令和3年度 開講科目について（国文学科）

○担当者から資料3に基づき説明。→提案どおり承認。

→備考欄に記載のある「グローバルスタディーズ」については「JSP」に名称を変更した

が、先の議事 2 と同様に国際交流センターで今年度中に提案するものとされている。
→教務委員会において TISP について再確認をするものとする。

- (4) 令和 3 年度 開講科目について (英文学科)
○担当者から資料 4 に基づき説明。→提案どおり承認。
- (5) 令和 3 年度 開講科目について (比較文化学科)
○担当者から資料 5 に基づき説明。→提案どおり承認。
- (6) 令和 3 年度 開講科目について (国際教育学科)
○担当者から資料 6 に基づき説明。→提案どおり承認。
- (7) 令和 3 年度 開講科目について (学校教育学科・初等教育学科)
○担当者から資料 7 に基づき説明。→提案どおり承認。
- (8) 令和 3 年度 開講科目について (地域社会学科・社会学科)
○担当者から資料 8 に基づき説明。→提案どおり承認。
- (9) 令和 2 年度 非常勤講師担当科目について
○担当者から資料 9 に基づき説明。→提案どおり承認。
- (10) その他 ○なし

3 報 告

(1) その他

○担当者から教員業績の公表方法について問題提起。

→業績については学内ページには上限もあるためリサーチマップへの掲載をしてリンクさせておけば良いのではないか。

→教員業績はリサーチマップへの掲載で良いと考えるが、学内での委員会業務などは学内ページへ掲載する必要がある。

以 上